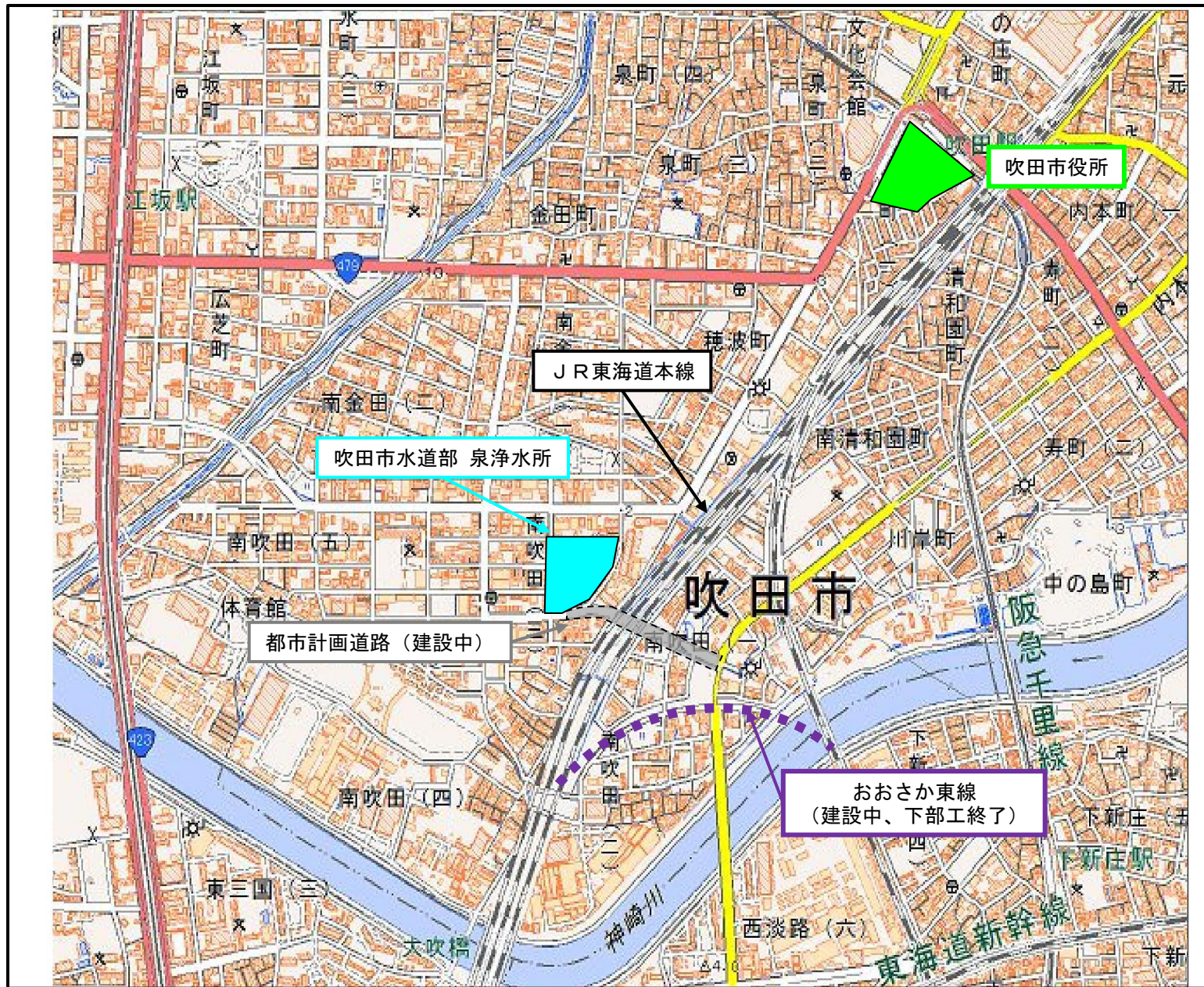
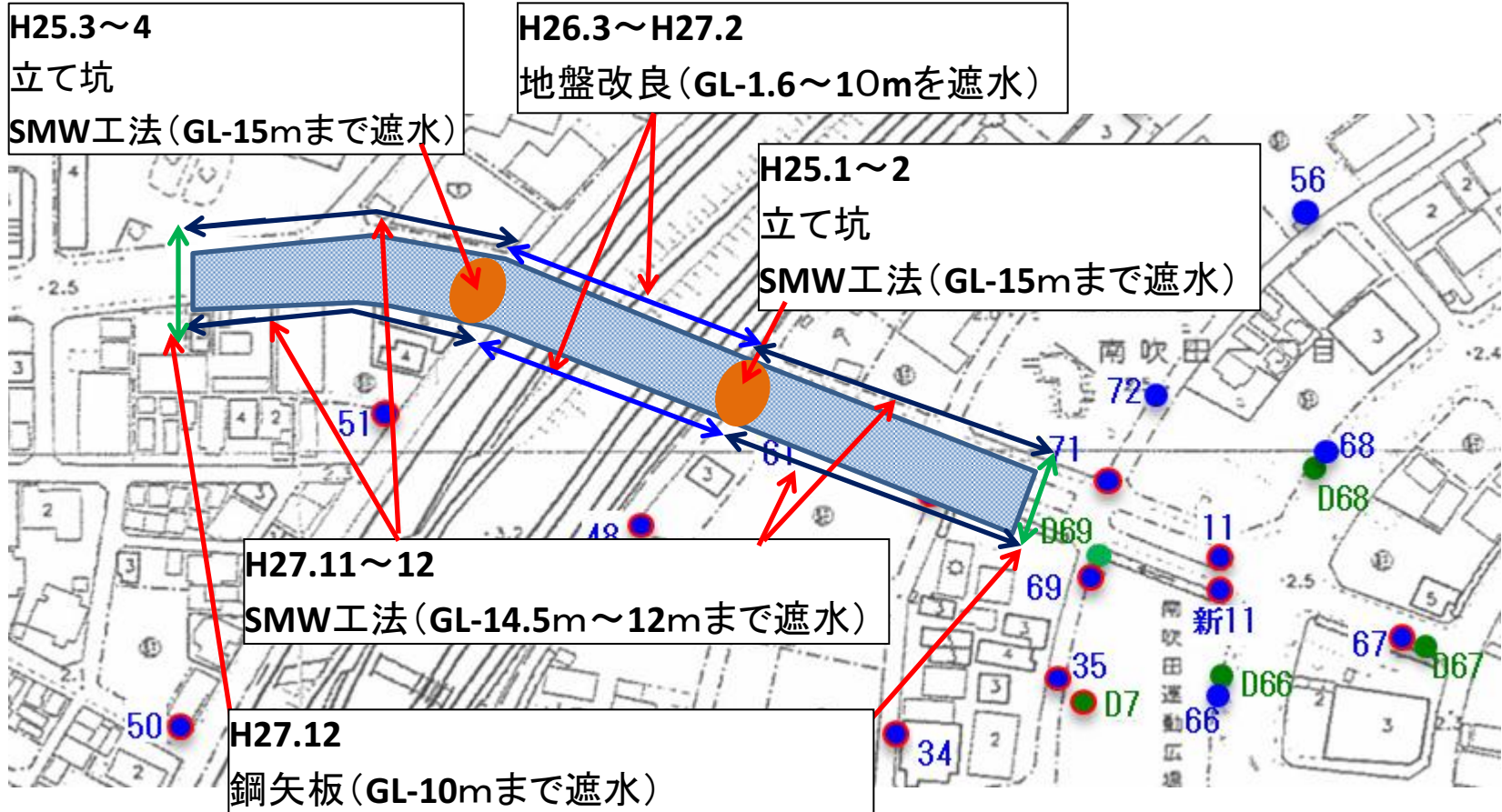


資料-1 南吹田地域の地下水汚染の状況について

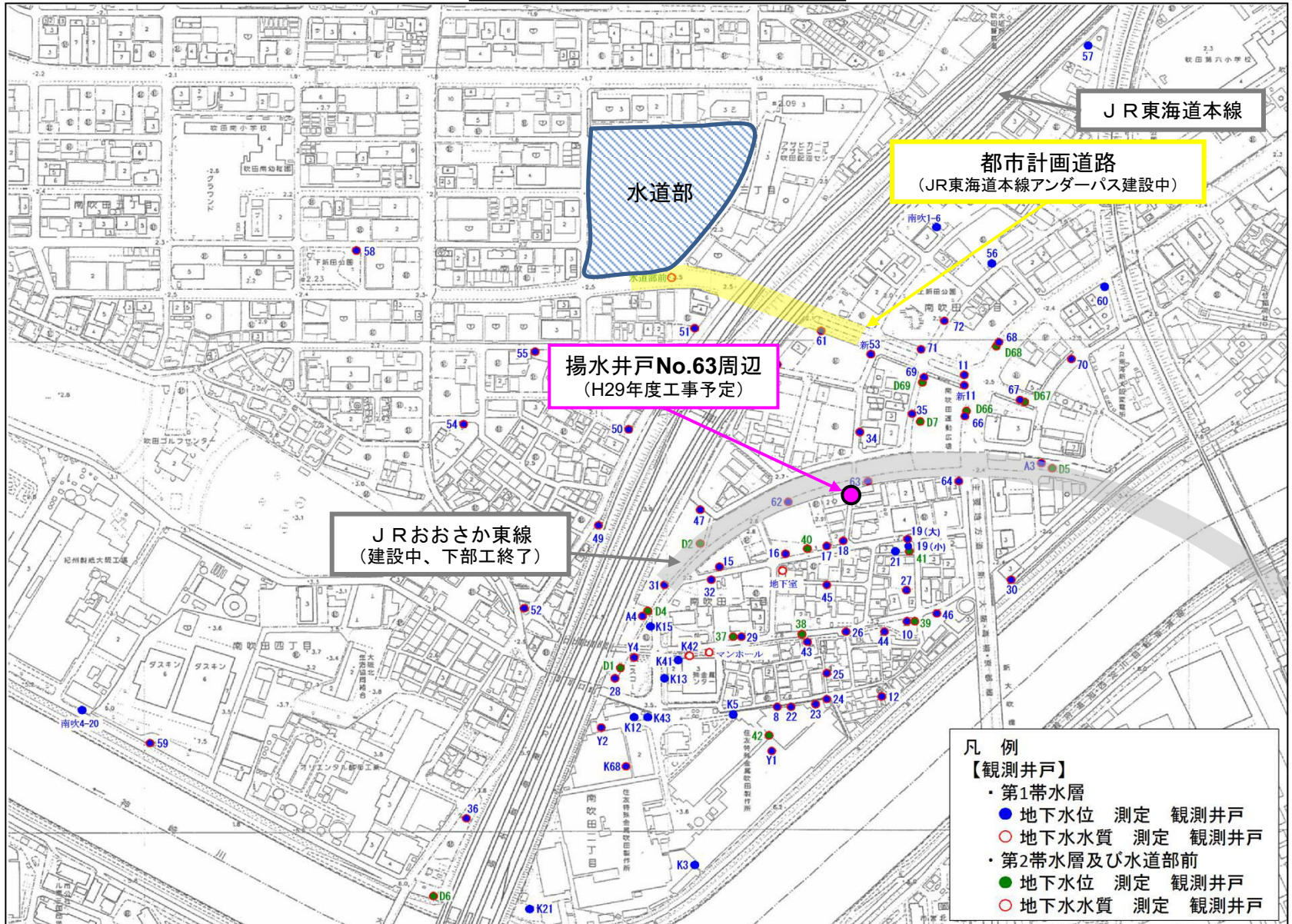
対象地域位置図



都市計画道路の工事の状況



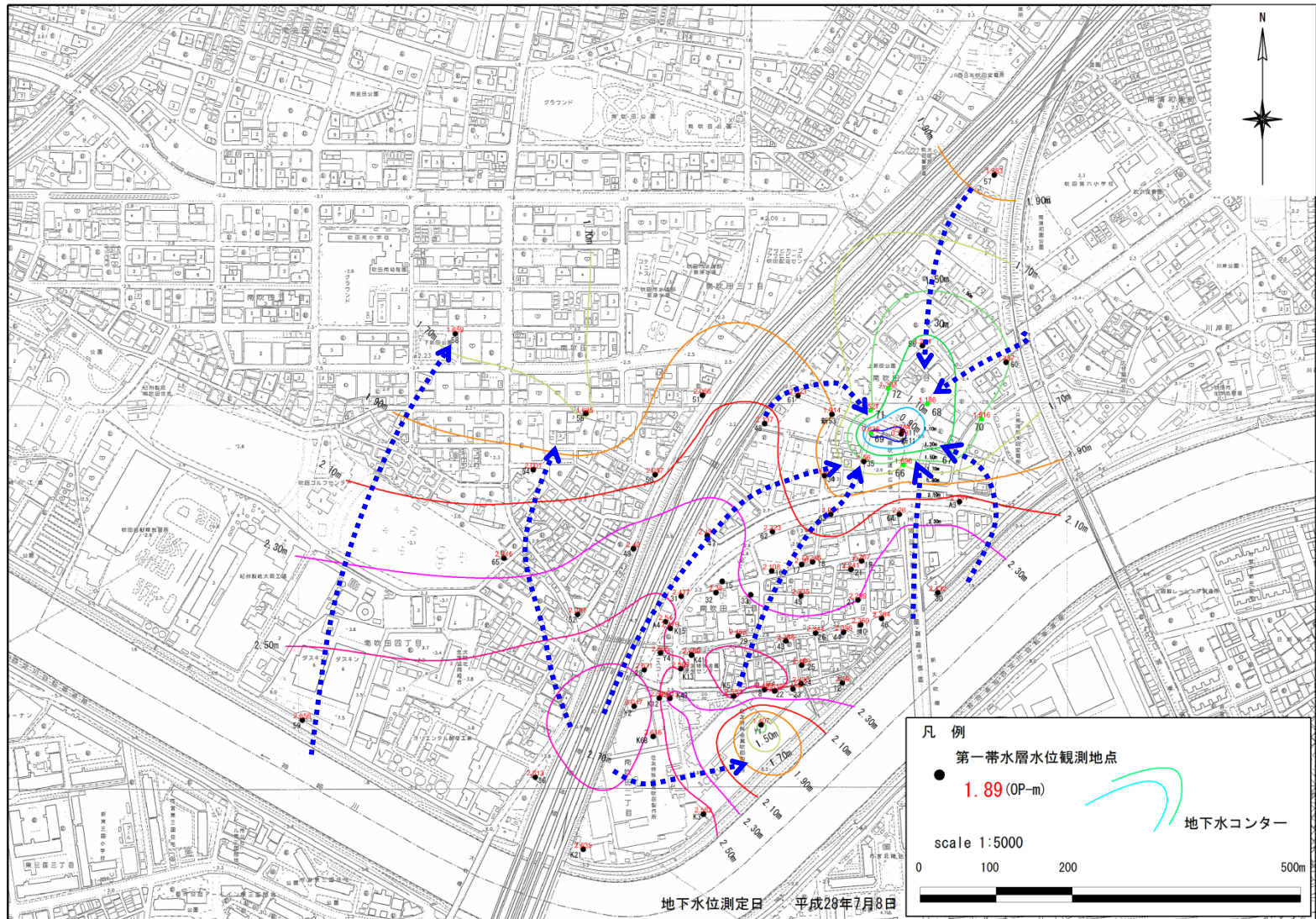
調査位置図



- 凡例
- 【観測井戸】
- ・第1帯水層
 - 地下水位 測定 観測井戸
 - 地下水水質 測定 観測井戸
 - ・第2帯水層及び水道部前
 - 地下水位 測定 観測井戸
 - 地下水水質 測定 観測井戸

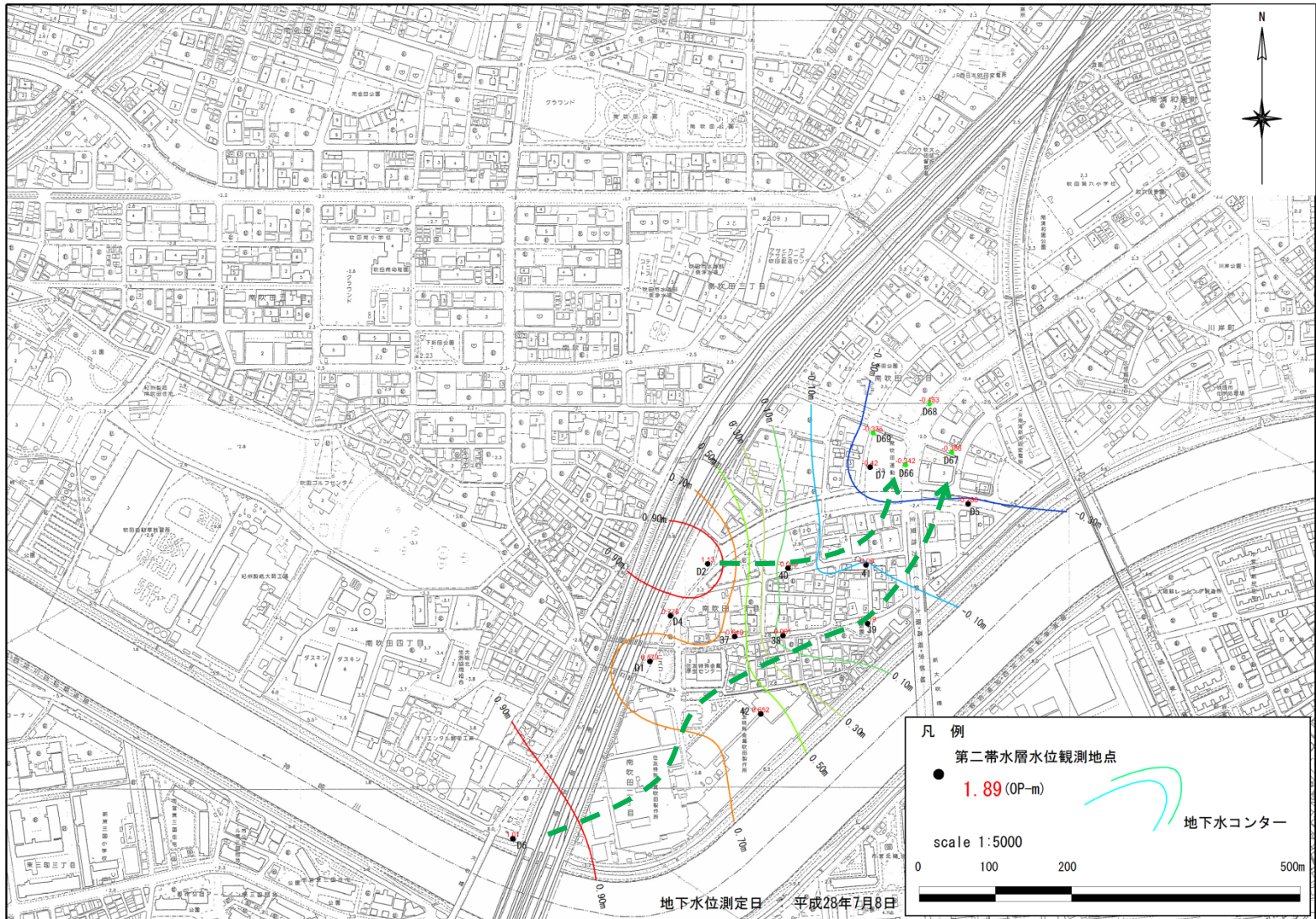
地下水水位コンター図

下水管修復前(H28.7 第1帯水層)



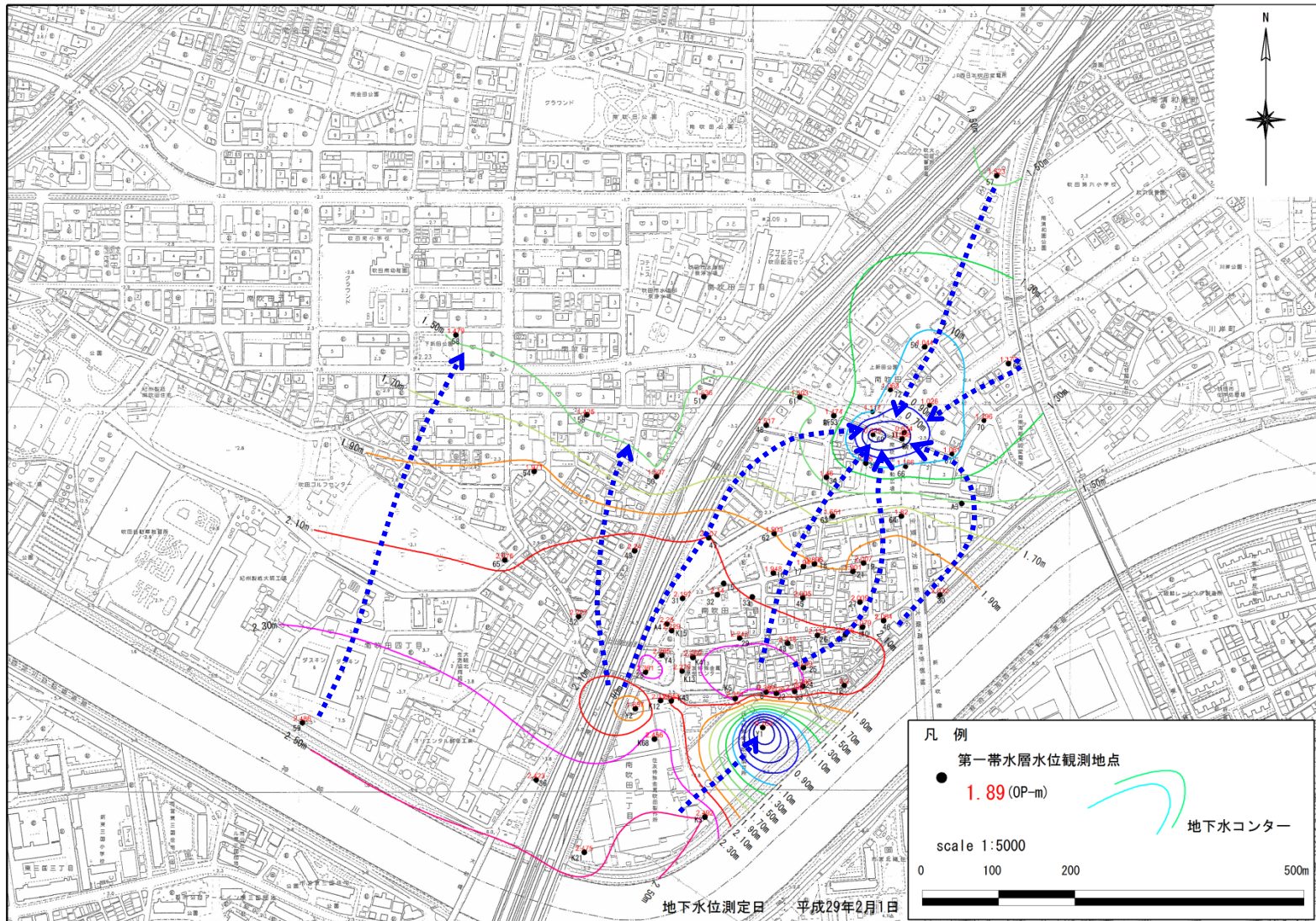
地下水位コンター図

下水管修復前(H28.7 第2帯水層)



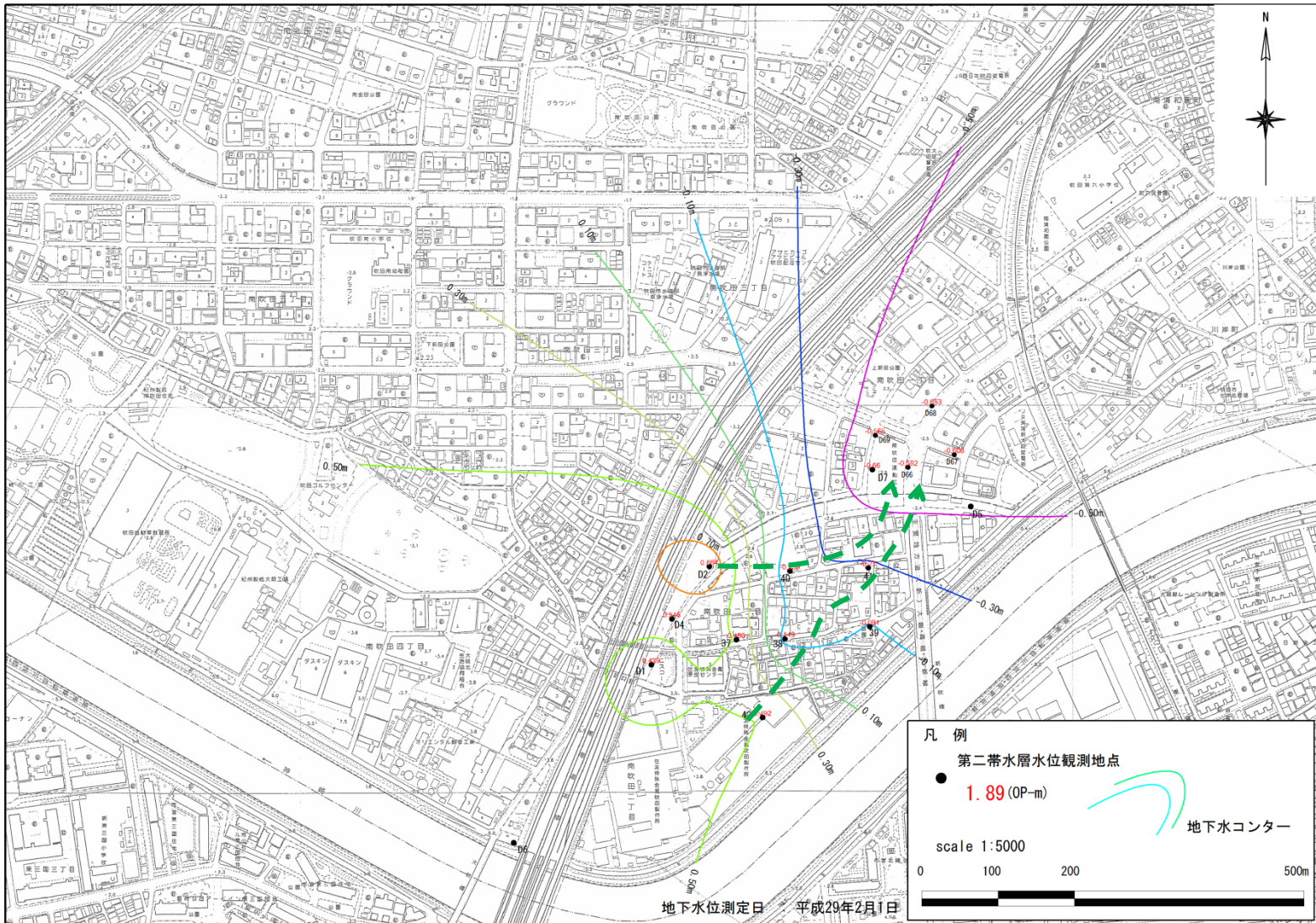
地下水位コンター図

下水管修復後(H29年2月 第1帯水層)



地下水位コンター図

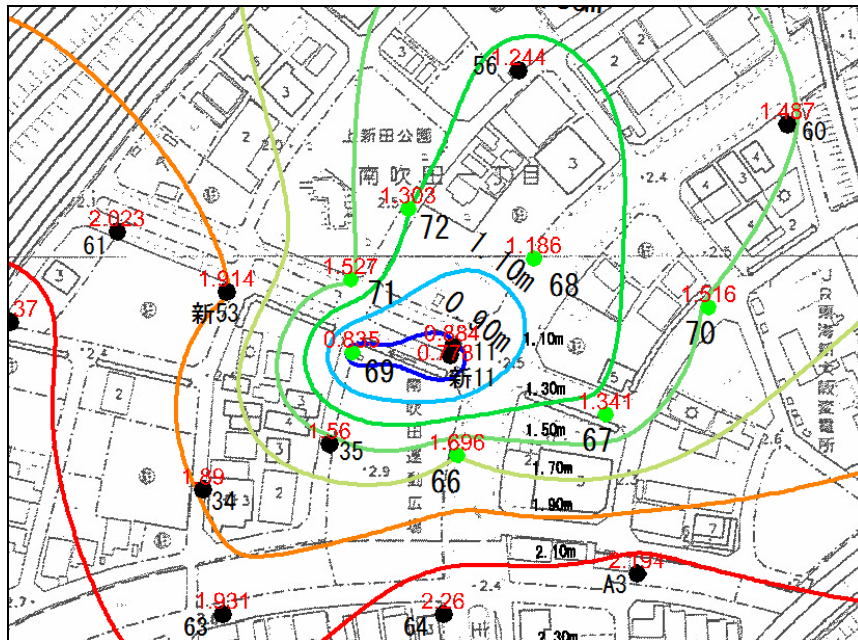
下水管修復後(H29年2月 第2帯水層)



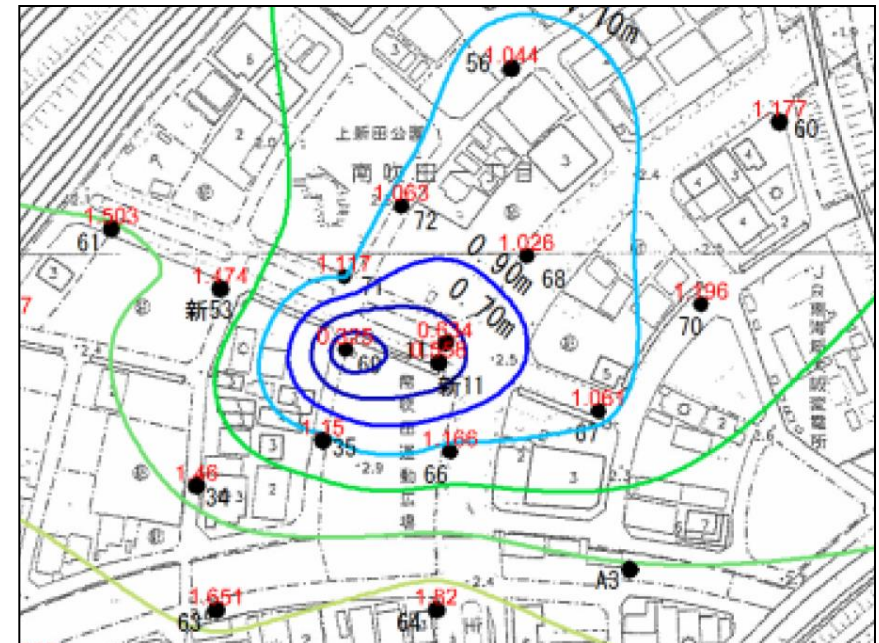
No.11周辺の地下水位測定結果(第1帯水層、O.P.、単位m)

	H26. 3月	H26. 8月	H27. 2月	H27 8月	H28. 2月	H28. 7月	H29. 2月
No.69	-	-	-	-	-	0.835	0.325
新No.11	-	-	-	-	0.638	0.778	0.558
No.11	0.704	0.914	0.624	0.974	0.704	0.884	0.634
No.69 - 新No.11	-	-	-	-	-	0.057	- 0.233

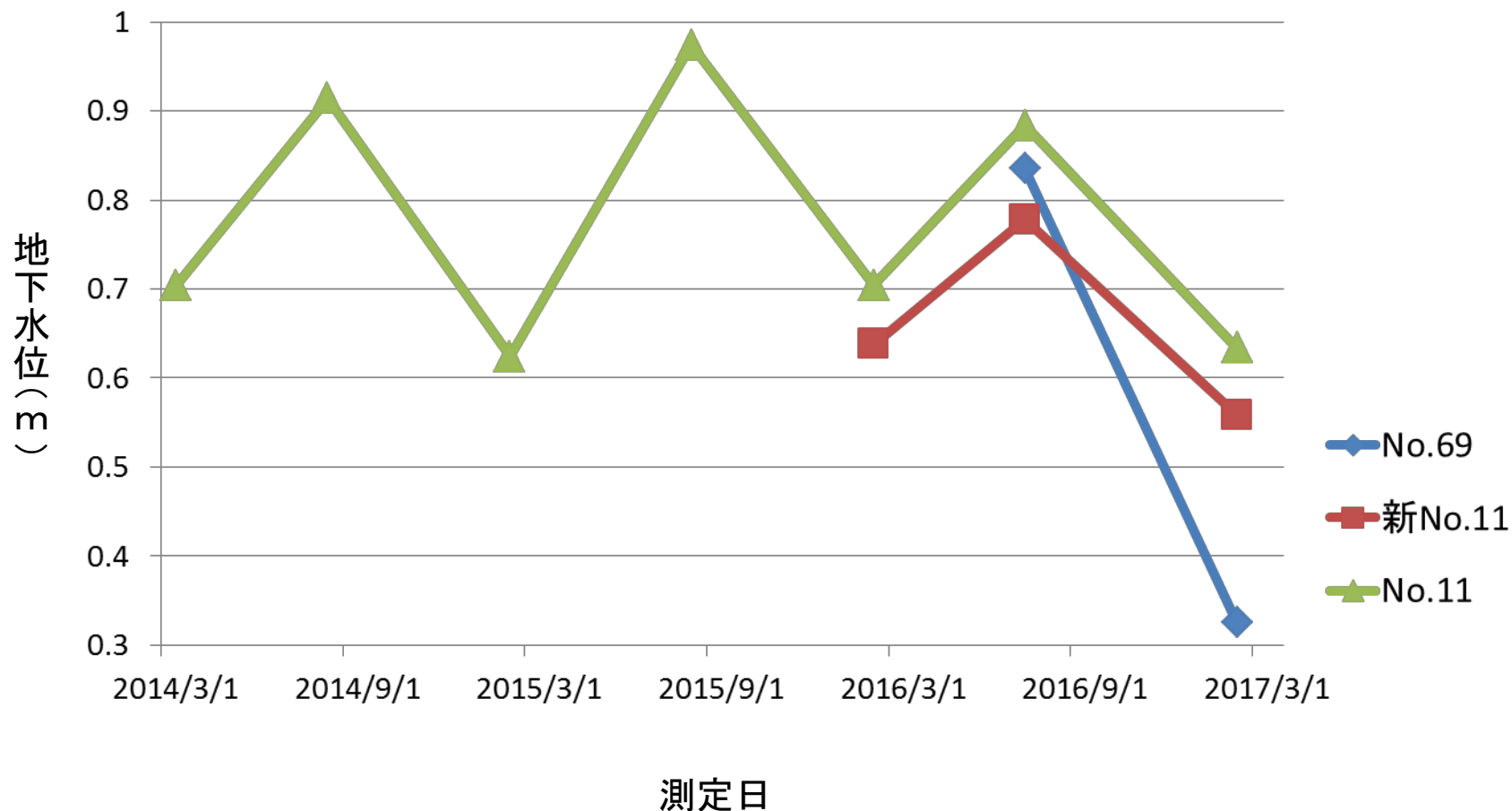
下水管修復前(平成28年7月)



下水管修復後(平成29年2月)

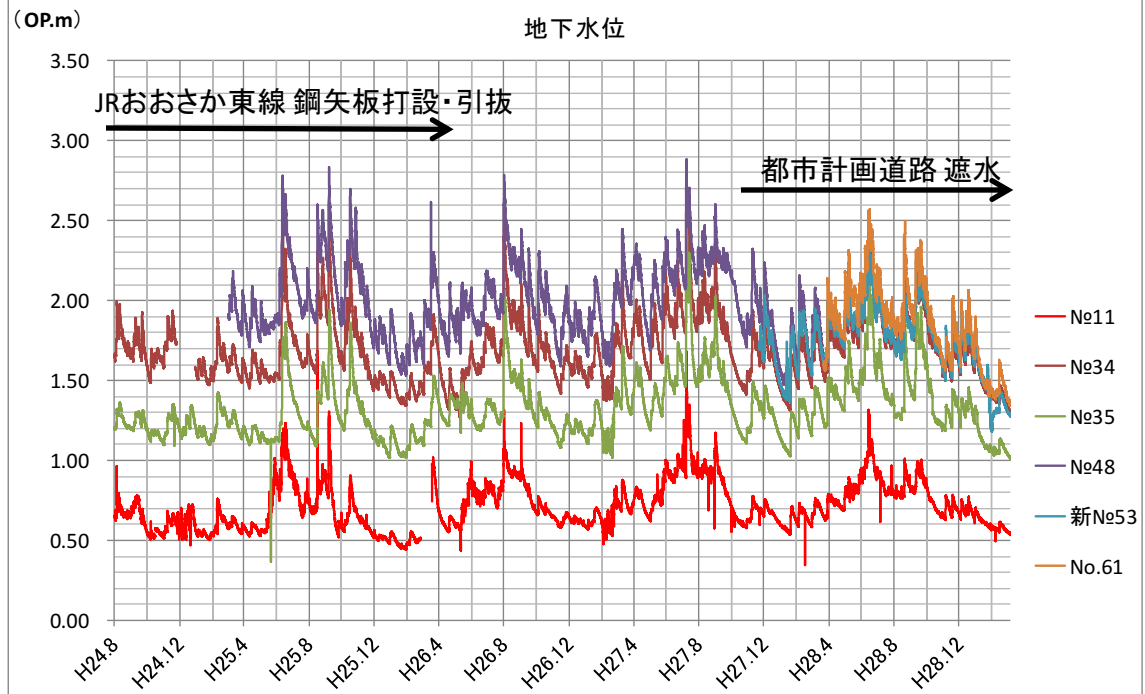
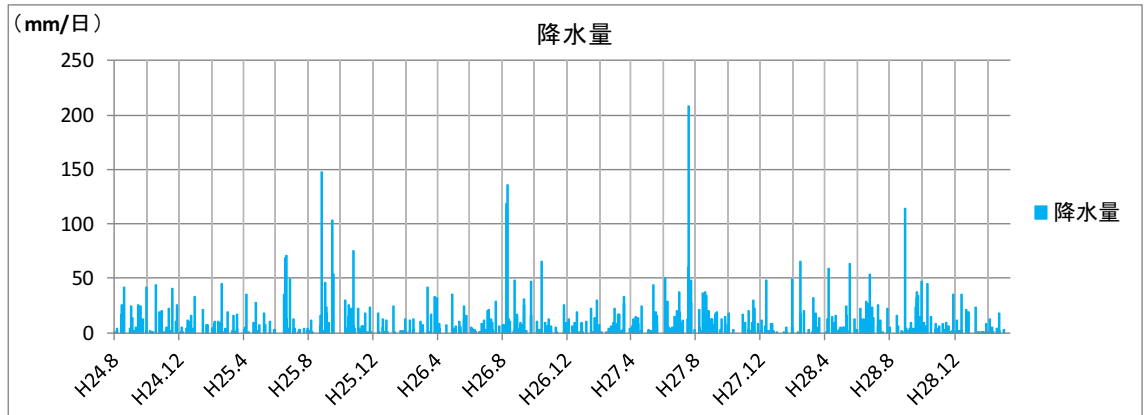
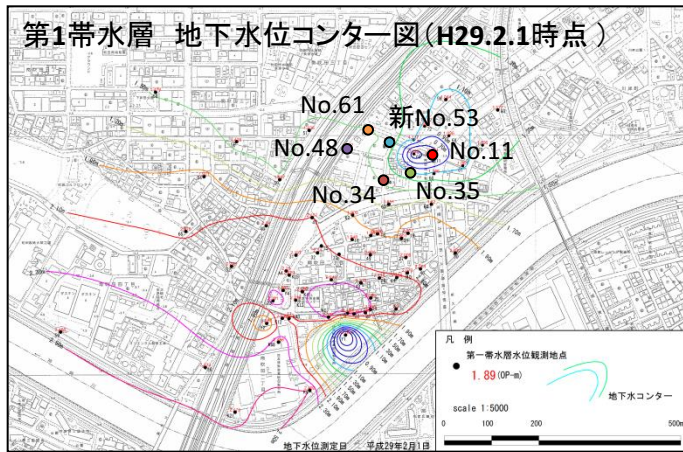


No.11周辺の地下水位の変動状況

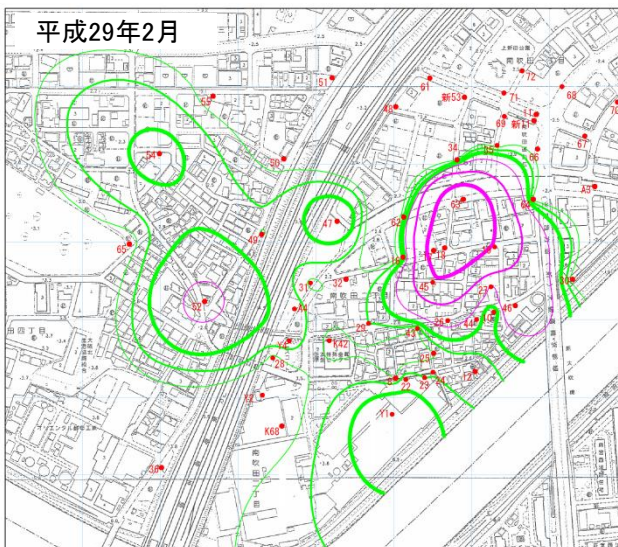
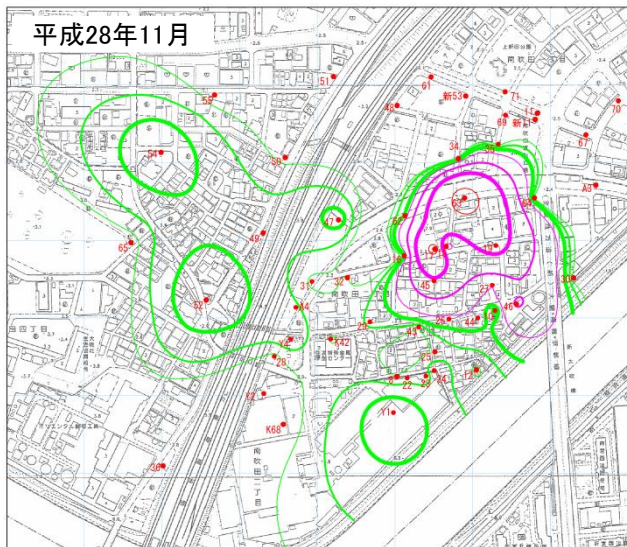
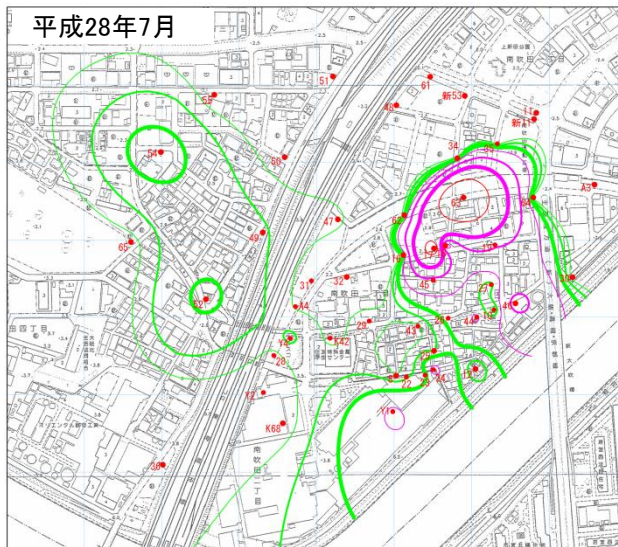
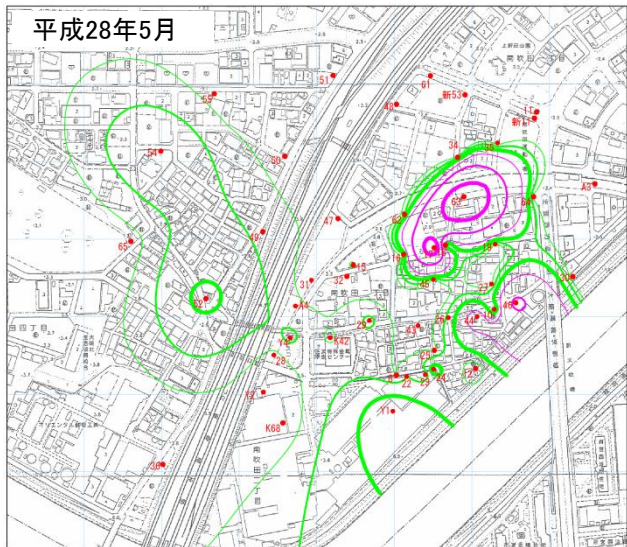


下水管修復(2016年9,10月)後、No.69の地下水位が、新No.11付近と比較したところ、相対的に低下傾向がみられる。

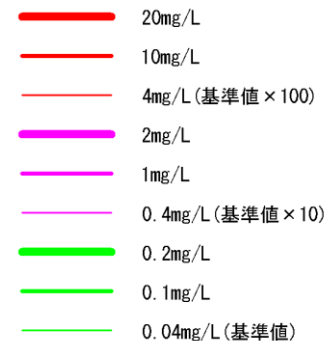
No.11孔周辺の連続地下水位測定結果(自記水位計 測定結果) (平成24年8月10日～平成29年3月16日)



地下水汚染濃度コンター図(第1帯水層、1,2-ジクロロエチレン)



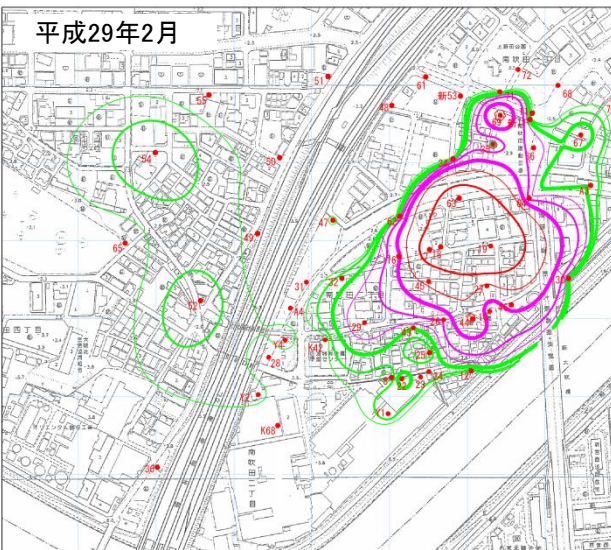
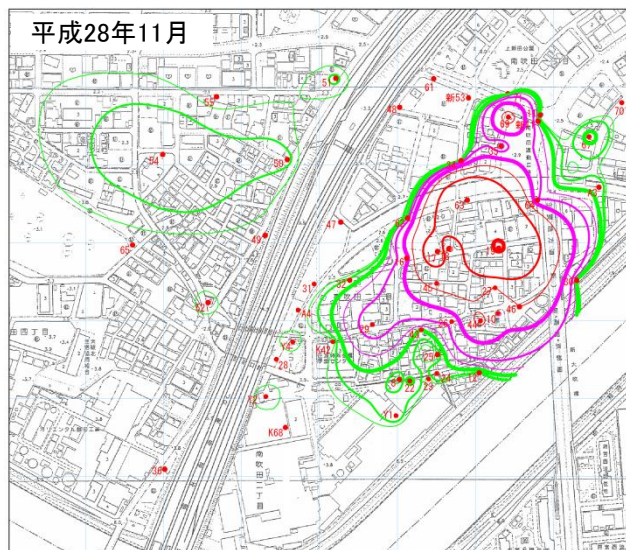
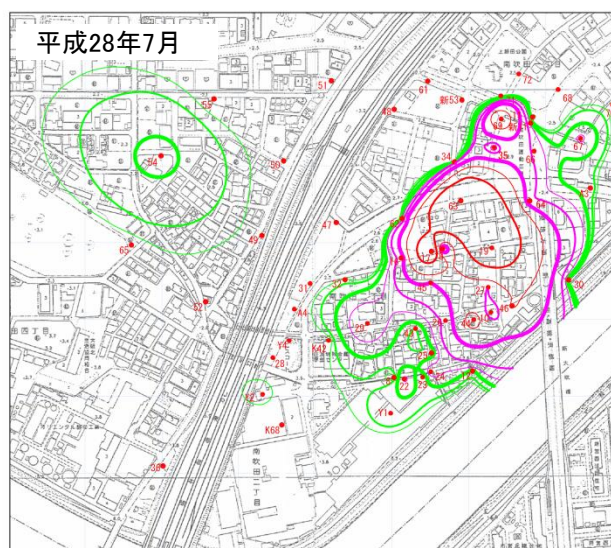
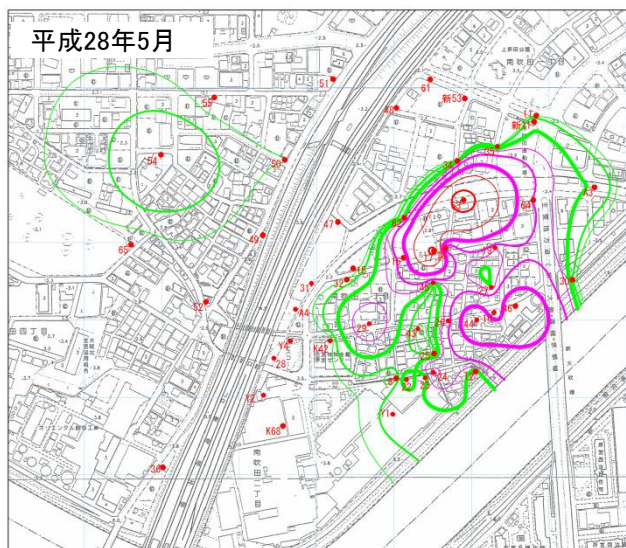
1,2-ジクロロエチレン
地下水濃度コンターライン



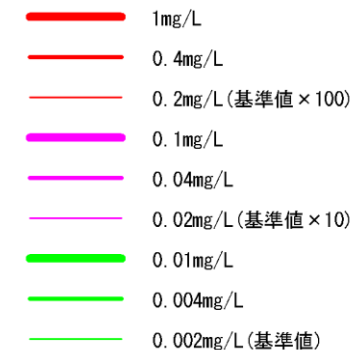
注) コンター図は、調査地点での測定結果をもとに描いていますが、推定が含まれている部分もあります。



地下水汚染濃度コンター図(第1帯水層、塩化ビニルモノマー)



塩化ビニルモノマー
地下水濃度コンターライン

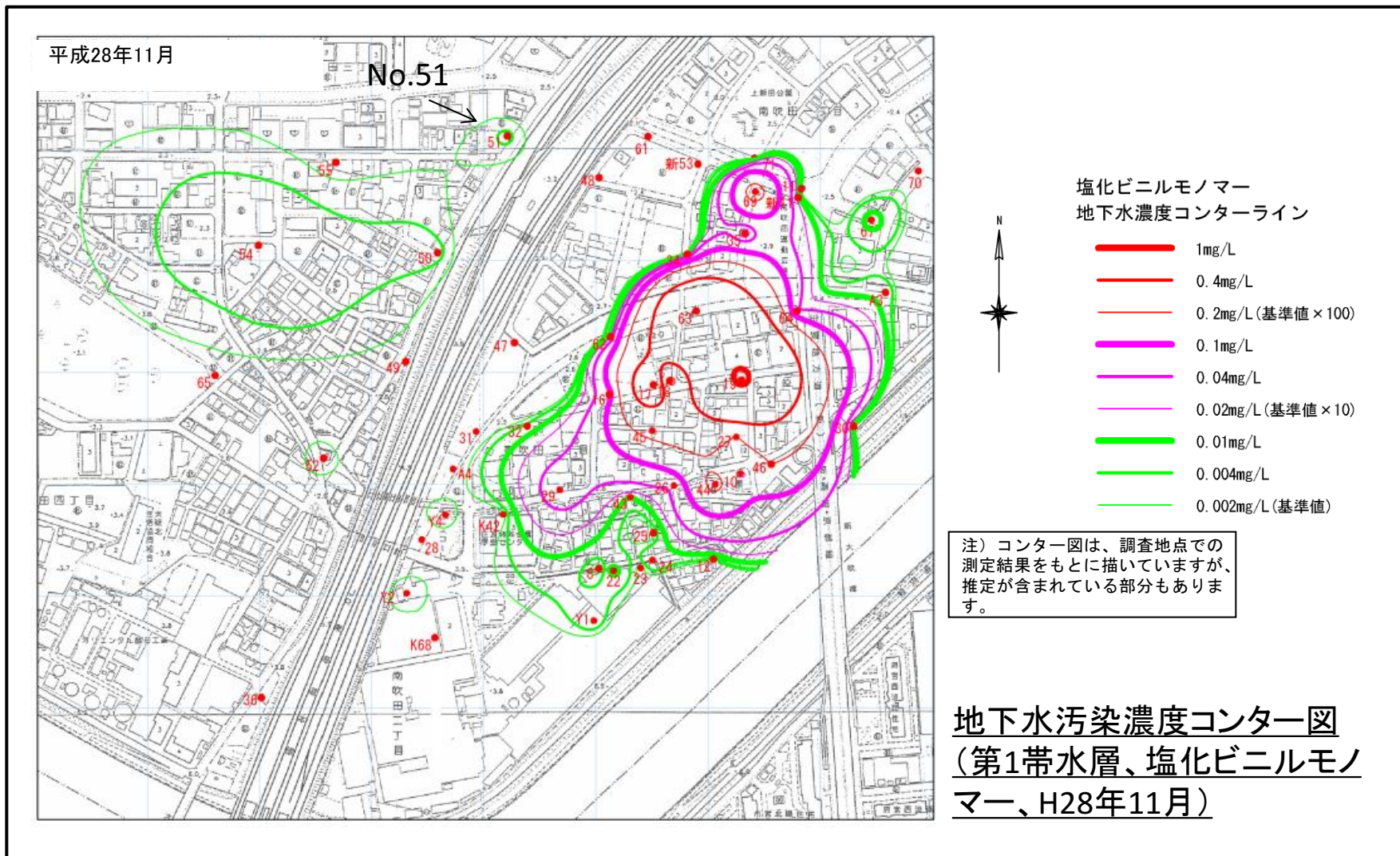


注) コンター図は、調査地点での測定結果をもとに描いていますが、推定が含まれている部分もあります。



●H28.8以降、水道部泉浄水所の休止中の井戸で塩化ビニルモノマーが検出(0.0003mg/L程度)

北西部の汚染拡散状況(H28.11)

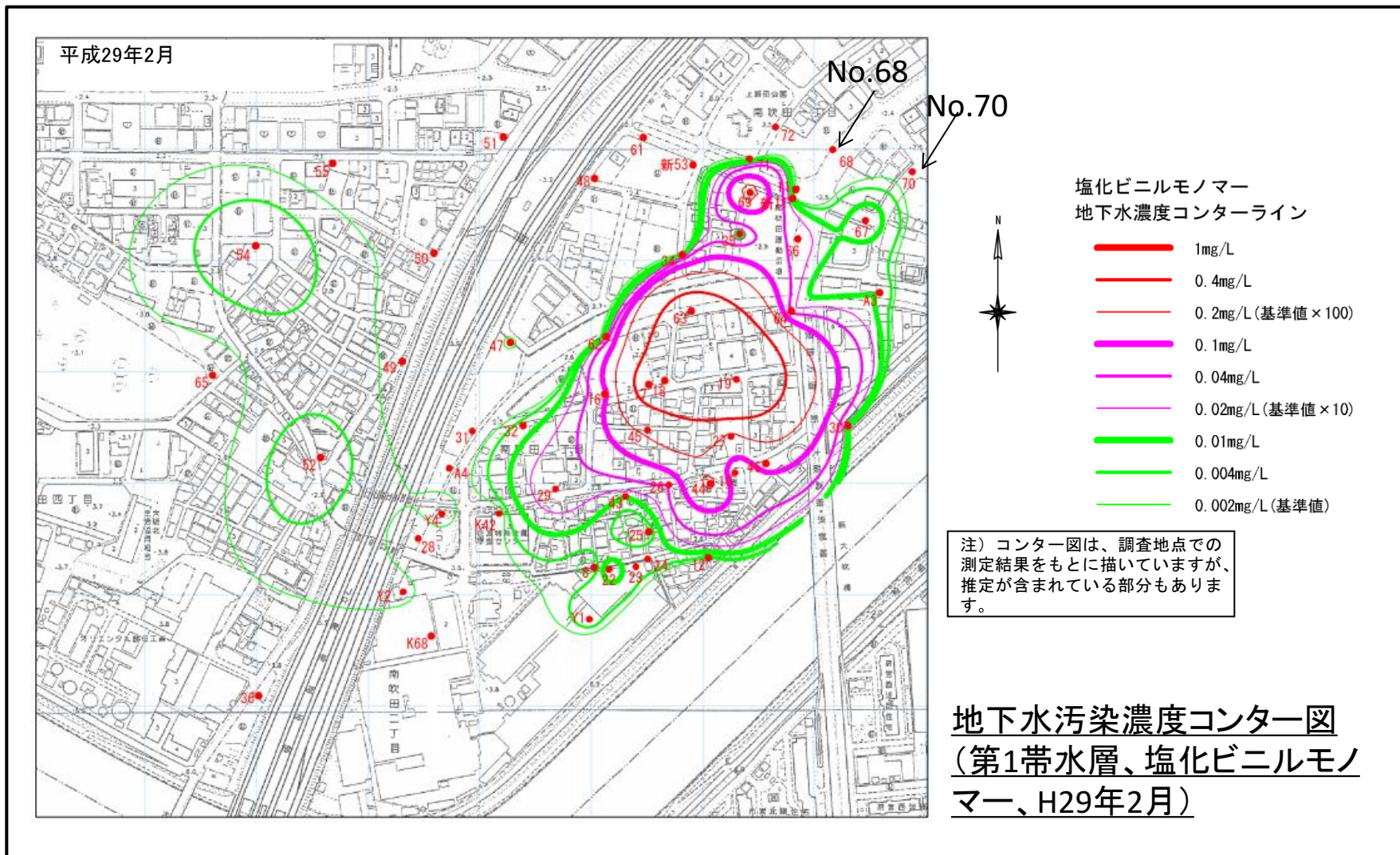


●H28.11北西部の北側No.51で塩化ビニルモノマーの基準超過
(0.0049mg/L)

No.	7月	11月	2月
51	0.0003	0.0049	<0.0002

単位: mg/L、基準: 0.002mg/L

北東部の汚染拡散状況 (H29.2)

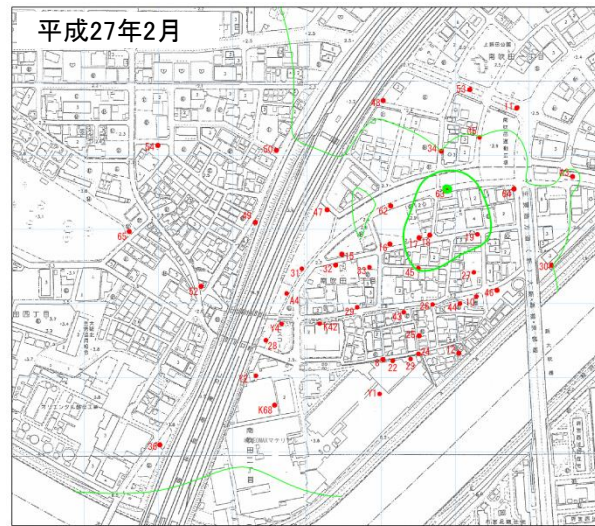
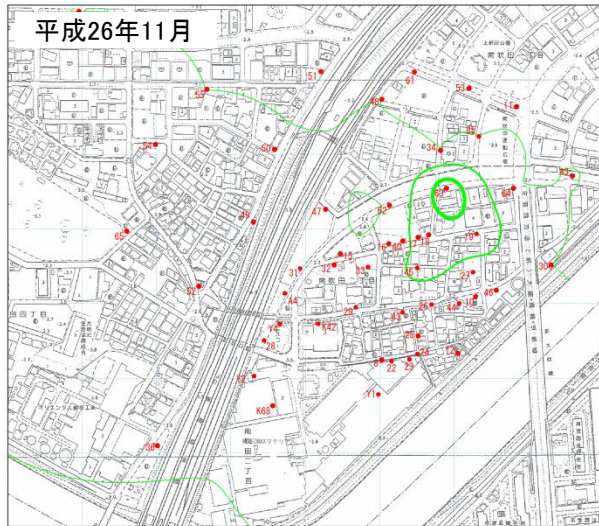
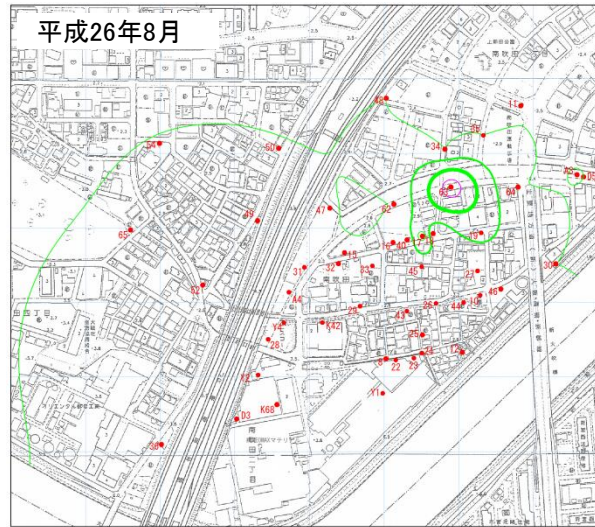
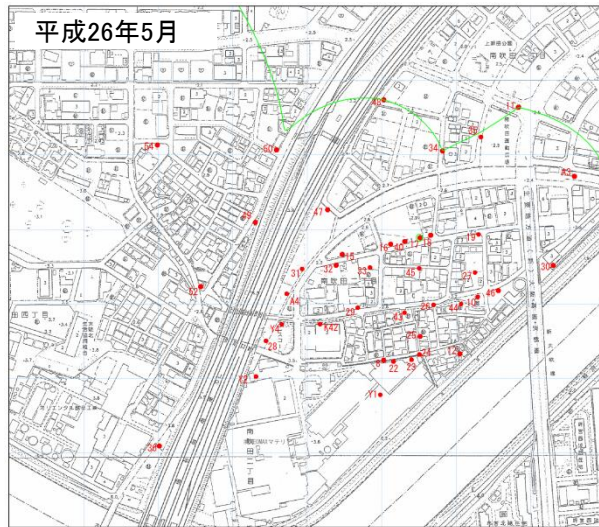


北東部の北側 (No.68) 及び北東側 (No.70) での塩化ビニルモノマーの検出、濃度上昇が見られる。(右表参照)

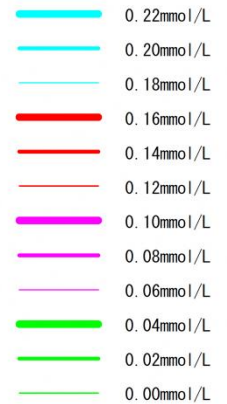
塩化ビニルモノマーの測定結果 (H28年度、単位: mg/L)

No.	7月	11月	2月
68	<0.0002	—	0.0003
70	<0.0002	0.0005	0.0017

総モル数*による地下水汚染濃度コンター図(第1帯水層)

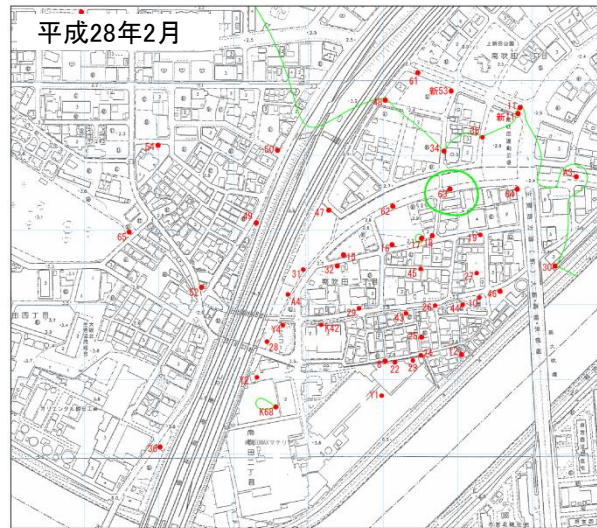
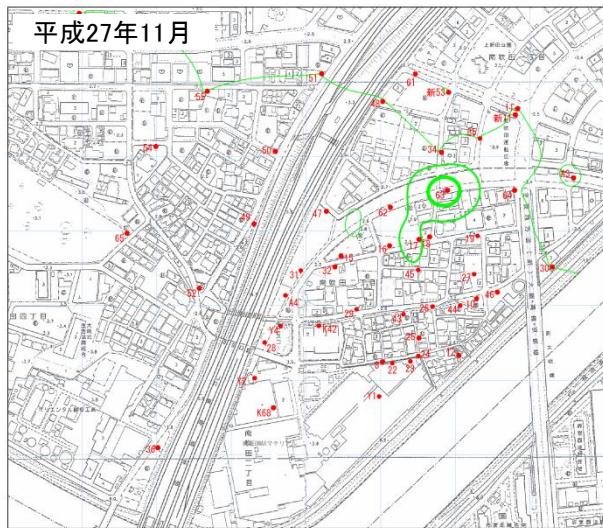
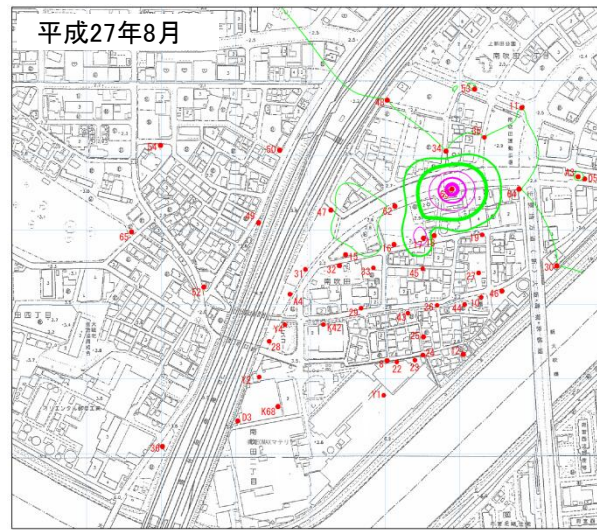
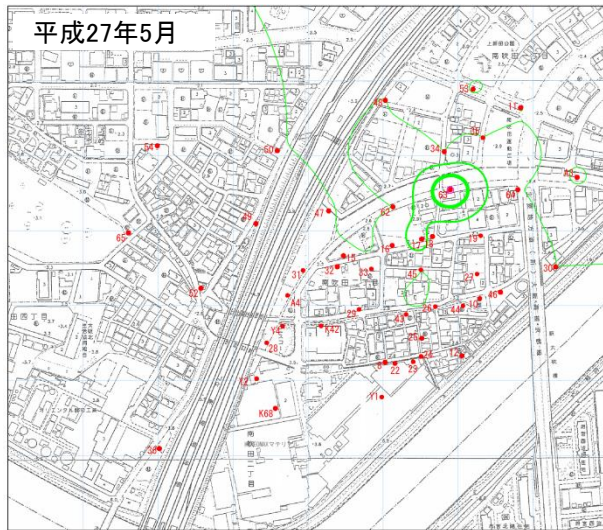


総モル数
コンターライン

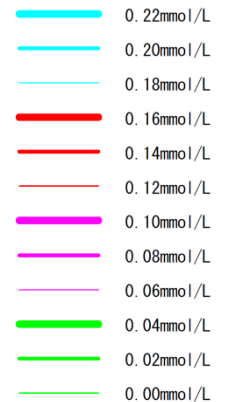


* テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、塩化ビニルモノマーの総和

総モル数*による地下水汚染濃度コンター図(第1帯水層)



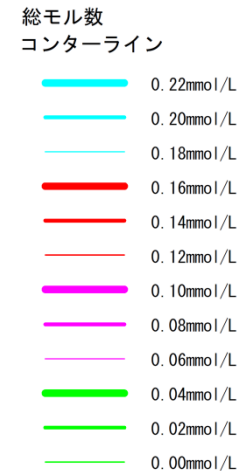
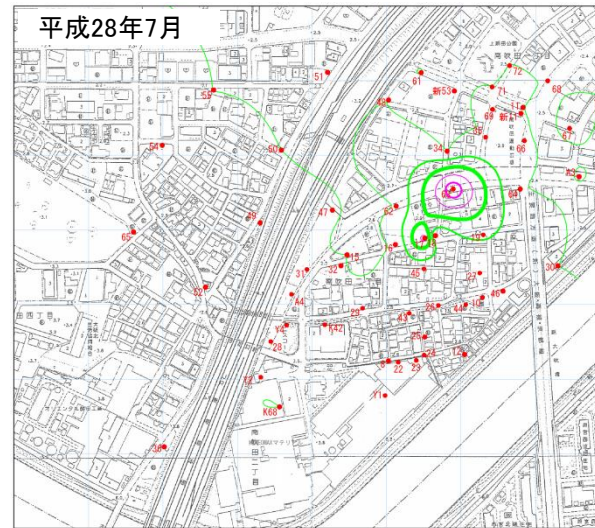
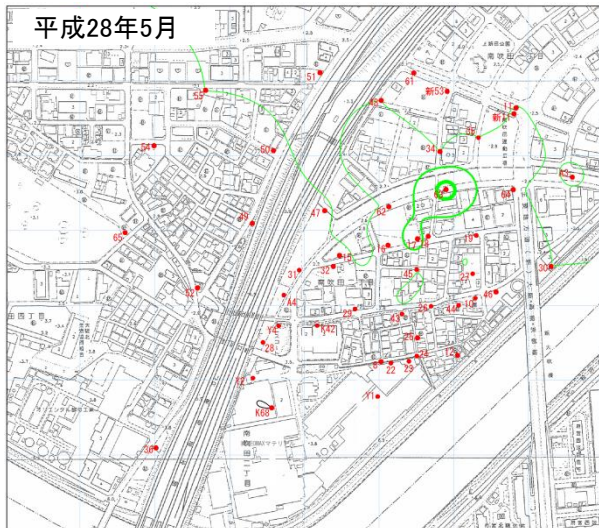
総モル数
コンターライン



0 100 200 500m

* テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、塩化ビニルモノマーの総和

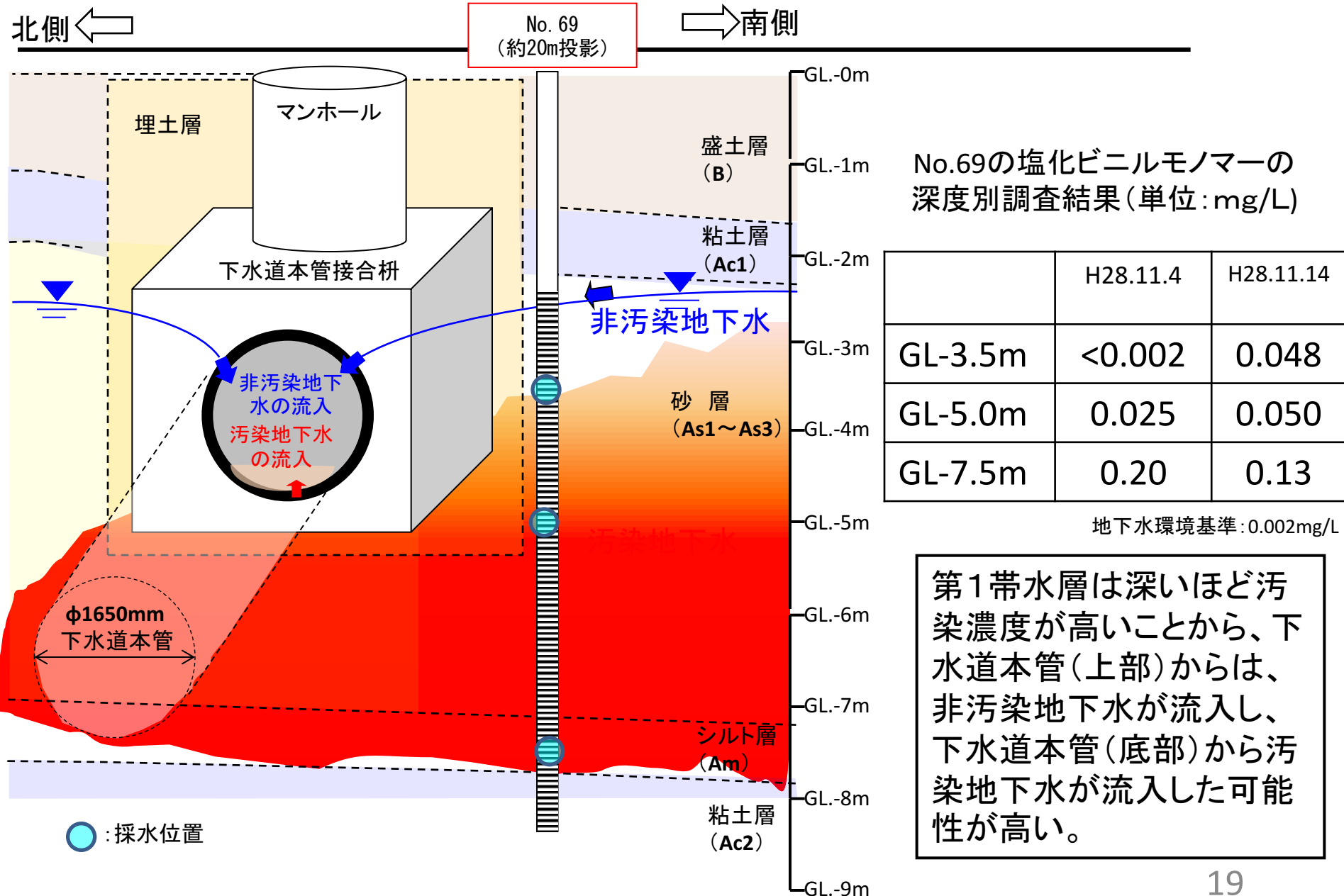
総モル数*による地下水汚染濃度コンター図(第1帯水層)



0 100 200 500m

* テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、塩化ビニルモノマーの総和

下水道本管周辺の汚染地下水の想定流動状況(模式断面図)



地下水汚染の状況(まとめ)

エリア	状況
北西部	<ol style="list-style-type: none">1 平成28年8月以降、水道部敷地内の深井戸(休止中)で塩化ビニルモノマーが検出される。2 北側のNo.51で、塩化ビニルモノマーの基準超過が確認された(H28.11)。
北東部	<ol style="list-style-type: none">1 大型工事による地下水位(地下水流向)の変化は見られない。2 平成28年7月以降、新設のNo.69での測定の結果、塩化ビニルモノマーの高濃度汚染が確認されている。3 下水管修復後、No.69の地下水位は、新No.11付近と比較したところ、相対的に低下している傾向が確認された。4 No.11の北側(No.68)及び北東側(No.70)での塩化ビニルモノマーの検出、濃度上昇が見られる。